

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

授 業	1
履 修	2
試験・成績	3
単位認定制度	4
学 籍	5
その他	6
教務事務	7
教育課程の構成	8
進級・卒業	9
教育課程表	10
編	

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2022年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ／学部概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1]学 期	1
[2]授業時間	1
[3]授業の出席	1
[4]授業の欠席	2
[5]休 講	3
[6]補 講	3
2 授業科目	3
[1]開 講 期	3
[2]配 当 年 次	3
[3]授業科目の種類	3
3 単 位 制	4
[1]単位制とは	4
[2]単位を修得するための学修時間	4
[3]各授業科目の単位数	4
[4]単位の認定	4

2 履 修

1 履修のルール	5
[1]履修登録とは	5
[2]履修単位数の上限	6
[3]クラス指定	6
[4]再 履 修	6
[5]履修できない科目	6
2 履修登録方法	7

3 試験・成績

1 試 験	9
[1]試験の種類	9
[2]定期試験の欠席	10
[3]試験日程・受験手続	10
[4]試 験 時 間	11
[5]受験資格・受験上の注意	11
2 成 績	12
[1]成績評価・成績表記	12
[2]GPA(成績平均点数制)	13
[3]成 績 発 表	14
[4]成 績 調 査	14

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	15
2 既修得単位認定制度の内容及び申請方法等	15

5 学 籍

1 修業年限と在学期間	18
2 学籍の異動	19
[1]休 学	19
[2]復 学	20
[3]退 学	20
[4]除 籍	20
[5]復 籍	20

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションcommons(MLACC)	21
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	21

7 教務事務

1 証 明 書	22
2 事務取扱時間	23
3 問い合わせ	23
4 学生への連絡	24
[1]Webポータルシステムによる掲示配信	24
[2]掲示板の場所と掲示内容	24
5 シラバス	25
6 manaba	26
7 メールアカウントの付与	26
8 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	26

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	27
2 専 門 科 目	29
3 履修モデル	30
4 履 修 条 件	31
5 クラス担任制	32
6 社会福祉主事について	32
7 カリキュラムマップ(履修系統図)	33

9 進級・卒業

1 進 級	34
[1]進級要件	34
[2]進級発表	34
2 卒 業	35
[1]卒業要件	35
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表	35
[3]学 位	35
3 年次(学期)別基準単位数	36

10 教育課程表

教育課程表	39
-------	----

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	43	4 卒業要件	45
2 2年間の学修計画	43	5 その他	45
3 既修得単位の認定	43	[1]クラス指定	45
[1]単位認定	43	[2]修得(認定)済科目の履修	45
[2]個別認定(α)	43	6 教育課程表(編入学生用)	46

2022年度 浦安キャンパス学年暦

■前学期 4/1 (金) ~ 9/14 (水)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

2022/ **4** April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
3/27	28	29	30	31	1	2	4/1(金)	学年始め
		← 履修登録期間 →					3/25(金)	オリエンテーション(3年)
							3/28(月)	オリエンテーション(4年)
3	4	5	6	7	8	9	3/29(火)	オリエンテーション(2年)
							3/29(火)~4/1(金)	履修登録期間・履修相談期間
							3/30(水)~4/1(金)	オリエンテーション(新入生・編入学生)
10	11	12	13	14	15	16	3/30(水)~4/5(火)	単位認定申請期間
		← 履修登録修正期間 →					4/4(月)	入学式
							4/5(火)	前学期授業開始
17	18	19	20	21	22	23	4/12(火)	単位認定発表
→							4/12(火)~17(日)	履修登録修正期間
24	25	26	27	28	29	30	4/15(金)	学生定期健康診断
					昭和の日		4/29(金)	休日授業実施日(昭和の日)
							4/30(土)	前学期授業料等納入期限

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	5/6(金)・7(土)	振替休日(休業)
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休業日	休業日	5/17(火)	創立記念日(休日授業実施日)
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
		創立記念日						
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	6/1(水)~30(木)	クリーンキャンペーン月間
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	7/8(金) 7/18(月) 7/23(土) 7/25(月)~30(土)	前学期定期試験時間割発表 休日授業実施日(海の日) 前学期授業終了 前学期定期試験期間
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18 海の日	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6 休業日	8/1(月) 8/1(月)~9/14(水) 8/6(土) 8/19(金)・22(月) 8/19(金)・22(月) 8/20(土) 8/23(火)~25(木) 8/27(土)	前学期定期試験欠席届提出期限 夏季休暇 振替休日(休業) 前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間 振替休日(休業) 前学期追(再)試験期間 振替休日(休業)
7	8	9	10	11 山の日	12	13		
14	15	16	17	18	19	20 休業日		
21	22	23	24	25	26	27 休業日		
28	29	30	31					

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	8/1(月)~9/14(水) 9/3(土) 9/5(月) 9/5(月)~8(木) 9/7(水)~12(月) 9/10(土) 9/14(水)	夏季休暇 振替休日(休業) 前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期) 履修登録修正期間(授業開始前) 振替休日(休業) 9月学位記授与式
4	5	6	7	8	9	10 休業日		
11	12	13	14					

履修登録修正期間 ← (from Sept 7 to Sept 10)

履修登録修正期間 → (from Sept 11 to Sept 14)

■後学期 9/15 (木) ~ 3/31 (金)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			7	8	9	10	8/1(月)~9/14(水)	夏季休暇
			履修登録修正期間				9/7(水)~12(月)	履修登録修正期間(授業開始前)
						17	9/8(木)	オリエンテーション(9月復学者)
11	12	13	14	15	16		9/10(土)	振替休日(休業)
履修登録修正期間							9/14(水)	9月入学式
18	19	20	21	22	23	24	9/15(木)	後学期授業開始
	敬老の日		履修登録修正期間				9/19(月)	休日授業実施日(敬老の日)
					秋分の日		9/21(水)~23(金)	履修登録修正期間(授業開始後)
25	26	27	28	29	30		9/23(金)	休日授業実施日(秋分の日)

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	10/10(月)	休日授業実施日(スポーツの日)
							10/31(月)	後学期授業料等納入期限
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
	スポーツの日							
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30	31							

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	11/1(火)~30(水)	クリーンキャンペーン月間
				文化の日			11/11(金)~14(月)	明海祭(休講)※準備、片付けを含む。
6	7	8	9	10	11	12	11/23(水)	休日授業実施日(勤労感謝の日)
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
			勤労感謝の日					
27	28	29	30					

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	12/16(金)	後学期定期試験時間割発表
							12/26(月)~	冬季休暇
							2023年1/7(土)	
4	5	6	7	8	9	10	12/28(水)	振替休日(休業)
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30	31		
			休業日					

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7	12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
8	9 成人の日	10	11	12	13	14	1/10(火)～12(木)	後学期補講期間
15	16	17	18	19	20	21	1/10(火)～12(木) 1/13(金)	休講日 大学入学共通テスト準備日(休講)
22	23	24	25	26	27	28	1/14(土)・15(日) 1/16(月) 1/23(月)	大学入学共通テスト(休業) 後学期授業再開 後学期授業終了
29	30	31					1/24(火)～30(月) 1/31(火) 1/31(火)	後学期定期試験期間 後学期定期試験欠席届提出期限 春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	2/4(土)	振替休日(休業)
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日	2/13(月) 2/13(月)・14(火)	卒業単位充足者発表 後学期追(再)試験時間割、該当者発表
12	13	14	15	16	17	18 休業日	2/13(月)・14(火) 2/15(水)～17(金)	後学期追(再)試験受験手続期間 後学期追(再)試験期間
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日	2/18(土)・25(土)	振替休日(休業)
26	27	28						

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	3/1(水)	卒業予定者発表
5	6	7	8	9	10	11	3/1(水) 3/1(水)・2(木)	成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期)
12	13	14	15	16	17	18	3/4(土) 3/15(水)	振替休日(休業) 学位記授与式
19	20	21	22	23	24	25	3/15(水) 3/15(水)	進級発表 成績発表
26	27	28 春分の日	29	30	31		3/16(木)～22(水) 3/31(金)	1年(1学期)～4年(7学期) 成績調査願提出期間 1年(1学期)～4年(7学期) 学年終了

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

※ディプロマ・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

※カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

※アドミッション・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

— 保健医療学部口腔保健学科 —

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

「保健医療学部口腔保健学科」では、次の要件を満たした者に「学士（口腔保健学）」の学位を授与する。

- ① 口腔保健にかかる健康増進・医療・福祉に携わることができる知識と技能を有し実践することができる。
- ② 歯科衛生士としての誇りと職業倫理を有し、生涯にわたって国民の健康な生活を確保することができる。
- ③ 医療にかかわる他の職種とも連携して、口腔保健の立場から社会的な貢献ができる。
- ④ 口腔保健の専門職種として国際社会で活躍することができる。
- ⑤ 課題に対して論理的思考力を発揮して解決することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

「広い視野・豊かな感性・国際性」を兼ね備えた、常に変化し続ける社会状況に対応可能な“国際未来社会で活躍し得る歯科衛生士”を養成するため、4年間一貫教育のカリキュラム編成を行っている。

- 1 人間性の陶冶を図るための教養教育を充実し社会人としての基礎力を向上する。
- 2 社会性、創造性、合理性の高揚を図り、国際性を進展させるための科目の充実を図る。
- 3 超高齢社会での口腔保健の実践力を育成するため医学的知識の涵養に加え、摂食嚥下機能や周術期療法にかかる知識と技能の高揚を図る。
- 4 スペシャルニーズに対応できる知識と技能を修得する。
- 5 実習を通じて多職種連携の重要性を理解する。
- 6 臨床および地域保健あるいは地域包括ケアにおいて総合的に活躍できる知識と技能の修得を図る。
- 7 国際性の向上を図るため語学学習を充実する。
- 8 問題解決能力や研究能力の育成を図るための課題研究を充実する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

口腔保健学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 口腔保健学の学修に必要な基礎学力を有している人（特に自然科学又は生命科学関連科目を履修していることが望ましい）

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

- 2 医療人として必要なホスピタリティマインドを有している人
- 3 コミュニケーション能力を身につけている人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】

- 4 保健・医療・福祉の分野で自分の能力を発揮したいと願っている人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

- 5 口腔保健を通じて、国民の生活の質の向上を図る強い意識を持っている人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【学校推薦型選抜（指定校）】

- 6 国際社会で活躍する希望を持っている人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】

新しい歯科衛生士を目指して

保健医療学部長 藤内 祝

晴れて大学生となった新入生の皆様、この度のご入学本当におめでとうございます。人生においてこの大学の4年間は人間形成においてとても大切な時間で、とても有意義な4年間になると思います。

明海大学は2019年度より保健医療学部を開設、4年制歯科衛生士養成課程「保健医療学部口腔保健学科」をスタートすることとなりましたが、これは現在の我が国における医療環境、特に歯科医療におけるニーズに応えるものであります。

今までの皆さんが想像する歯科衛生士像というものは、恐らく歯科診療所において歯科診療の補助や歯の予防処置などが主な仕事かと捉えられていると思います。もちろんそれらは重要な業務ではありますが、近年の高齢化社会や口腔と全身との関りの解明より、医科歯科連携におけるチーム医療の重要性が高まり、その中でも歯科衛生士の役割も大きく変わろうとしています。

中でも口腔環境と肺炎、糖尿病、認知症などの多くの全身疾患との関係が注目され、歯科診療所のみならず病院、内科などの医科の診療所などでも口腔ケアのために歯科衛生士の活躍の場が非常に多く増えてきています。また病院、診療所以外でも介護施設や訪問診療など、「診療室」から「必要としている人」の場所に出向き、暮らしの中で食生活を維持して生きがいを支える医療を展開する役目も歯科衛生士が担っています。このように歯科衛生士の活躍の場が従来と比べて格段と広くなり、社会からのニーズもより質の高いものが要求されてきております。

これらのことを踏まえ最初の1年次は、生物学、化学などの自然科学の基礎分野、および解剖学、生理学などの人体における専門的基礎分野などが中心となります。2年次は専門基礎分野に加えて介護福祉、臨床医学、一般歯科医学の臨床専門分野を、3年次は臨床専門分野に加えて学内外における臨床実習、4年次の多くは総合演習や卒業研究が中心となります。このように4年間で医療に携わる基本的、専門的なより高い知識を学んで頂きます。

皆さんが医療人として、さらに一社会人としての一步を踏み出すために、これらのことを幅広く総合的に学び、「新しい歯科衛生士」を目指すために学生と教員が一体となって4年間の学生生活を送って頂けたらと思います。

学部概要

超高齢社会、平均寿命の伸長、さらには健康志向の高まりの中において、健康は、「いかに豊かな人生を送るか」というQOL（Quality of Life）の観点から、歯・口腔の健康に対する社会的ニーズはますます増加し、同時に多様化と高度化が求められています。また、近年では、歯・口腔と全身の健康の因果関係が注目されており、国民の健康増進の観点からも歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を担う歯科衛生士の育成が重要になってきています。

歯科衛生士の役割は、今後ますます多様化と高度化が進展すると同時に、これまでの歯科医療現場から医療や介護、福祉、行政などの領域に拡大し、これらに対応する人材の育成は急務重要視されています。

本学部では、このような社会的情勢に応え、国際未来社会で活躍し得る人間性、感性に富む歯科衛生士を育成するため、広く知識を授け、口腔保健分野における学識、技術及び研究能力を培うことを目的としています。

歯科衛生士憲章

私たちは、職業の重要性と社会的使命を強く自覚し、ここに歯科衛生士憲章を制定し、その実践を期するものである。

1. 私たちは国民の歯科衛生を担う者として誇りと責任をもって、社会に貢献する。
1. 私たちは常に地域住民の立場を理解し誠実に業務を遂行する。
1. 私たちは社会の信頼に応えるよう常に人格の形成、知識及び技術の向上に努める。
1. 私たちは関係諸法令を遵守し歯科保健医療の向上に寄与する。
1. 私たちは常に歯科衛生士業務発展のため相互の融和と団結に努める。